

タブリー県から12名の中学生が来町



タイ王国ノンタブリー県第一初等教育局と締結している教育交流協定に基づき、今年度も中学生の相互訪問交流が行われました。交流は今回で4回目。8月には美郷中学校の生徒12名が同県を訪問し、現地のアニュラチャプラシットスクールでさまざまな活動をし

てきました。町中が雪で白く覆われた12月16日、アニュラチャプラシットスクールから生徒12名が来町しました。4泊5日の日程となった今回の訪問では、美郷中学校での交流活動のほか、日本の文化、日本の「冬」を味わえるさまざまな体験活動が行われました。



■生徒を代表し、歓迎集会への感謝を述べるムーワンさん

12月17日、歓迎集会が美郷中学校で開催されました。歓迎あいさつや学校紹介など、歓迎集会は終始英語で行われました。

交流タイムとして設けられた時間では、美郷中学校の生徒が考えた日本文化に関するクイズに、アニュラチャプラシットスクールの生徒が挑戦。正解すると歓声とともに拍手が鳴り響き、会場は大いに盛り上がりました。

※タイ王国ではお互いの名前をニックネームで呼び合う慣習が浸透しているため、広報美郷においても生徒の名前はニックネームで表記します。

ムーワンさんのコメント

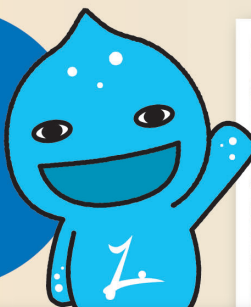
学校では英語と日本語を勉強してるので、皆さんとたくさん交流したいです。

タイ王国との相互訪問交流

タイ王国ノン

12月17日から18日にかけて、アニュラチャプラシットスクールの生徒は美郷中学校の授業に参加しました。柔道の体験学習が行われた体育の授業では、実際に柔道着を着て取り組みました。授業へ参加した後は、日本の伝統玩具を体験しました。こま、けん玉、めんこなどを教わり、笑顔で取り組む生徒の姿が見られました。

楽しんで
くれたかな？



こまを体験した リヴィアさんのコメント

最初は難しかったけど、上手にできるようになり、楽しかったです。

12月18日から19日にかけては、ホストファミリーとなった美郷中学校の生徒宅に、アニュラチャプラシットスクールの生徒が宿泊しました。長い時間を一緒に過ごし、交流を深めました。



アニュラチャプラシットスクールの生徒は交流活動のほか、つきたてのお餅にゴマやきな粉をまぶしたり、着物を羽織ったりと日本文化を体験しました。今回の訪問は日本文化の理解を深める貴重な経験となりました。